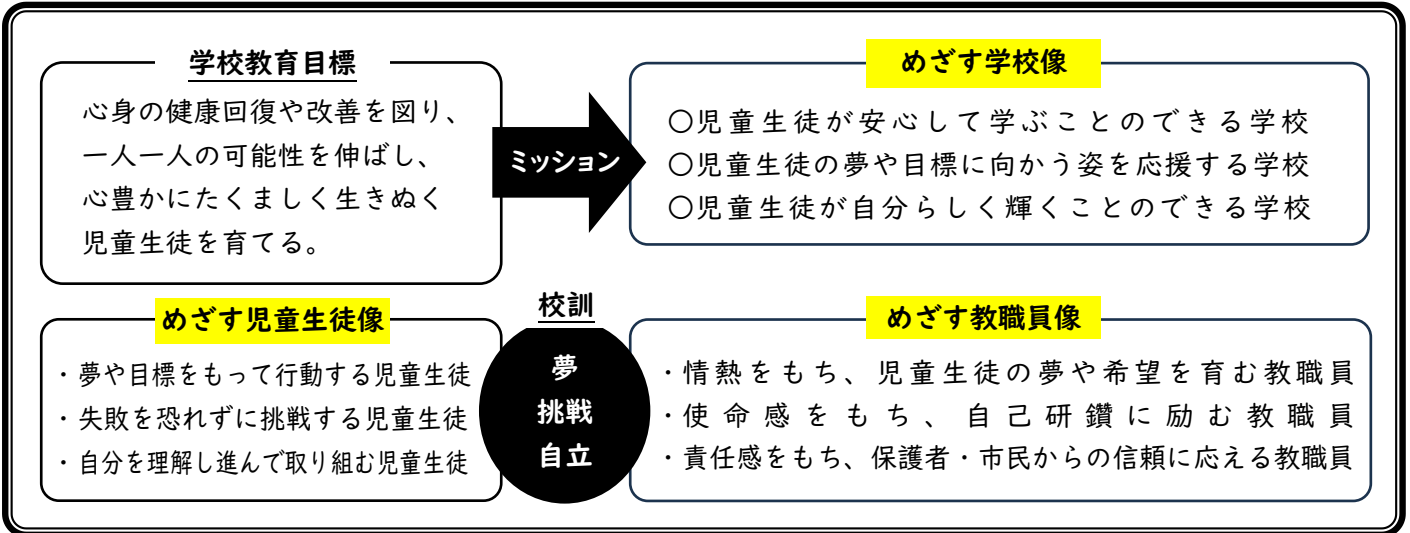


令和8（2026）年度 市立札幌山の手支援学校
学校経営方針



運 営 方 針

「おかげさま」のあふれる学校づくり
～心理的安全性を基盤とした教育活動の展開～

今年度の重点（取組のキーワード）

- I 児童生徒が安心して学ぶことができる教育環境の充実
 - 人間尊重的教育 ■ 児童生徒理解 ■ 主体性 ■ 成功体験 ■ 自己肯定感
 - 相互承認 ■ 豊かな心 ■ 防災安全教育 ■ ICT 機器等の活用
- II 一人一人の実態に応じた授業づくりと教育課程の改善・充実
 - 個別の指導計画 ■ 自立活動 ■ AAR サイクル ■ 課題探究的な学習
 - 個別最適な学び ■ 協働的な学び ■ カリキュラム・マネジメント
- III 社会とのつながりの中で学ぶ教育活動の展開
 - 個別の教育支援計画 ■ キャリア教育 ■ 外部人材の活用
 - 主権者に関する教育 ■ 社会に開かれた教育課程 ■ 情報発信
- IV 学び合いと働きがいのある職場環境の整備
 - 業務の効率化 ■ 業務内容の平準化 ■ 専門性の向上 ■ 授業（業務）改善
 - ライフ・ワークバランス ■ 心身の健康管理

本校の強み



- ★病弱特別支援学校としての伝統
- ★小中高の一貫
- ★複線した教育課程
- ★教育・医療・家庭の三者の連携

センター校

小学部の重点

- ・児童の『～したい』を膨らませ、その実現に向けた自己決定や挑戦を支援する。
- ・児童が自分と他者の思いを大切にできる人間関係づくりを進める。

中学部の重点

- ・家庭・関係機関との連携と情報共有を徹底し、個別最適な学びを支える一貫性のある指導・支援体制を構築する。
- ・将来の自立と社会参加を見据え、中心的課題に基づいた系統的・実践的なカリキュラムマネジメントを推進する。

高等部の重点

- ・安心・自己理解を基盤とした主体的な学びの充実をめざす。
- ・自立と社会参加に向けた学びの充実と社会とのつながりの推進を図る。